

あかふじ ニュース

第 19 号

発行 令和5年4月
山梨県消防防災航空隊



《山梨県ホームページ》

<https://www.pref.yamanashi.jp>

《やまなし防災ポータル》

<https://yamanashi.secure.force.com>

山梨県消防防災航空隊

〒400-0108 山梨県甲斐市宇津谷 445-1

TEL 0551-20-3601

FAX 0551-20-3603

E-mail: bousai-kokuu@pref.yamanashi.lg.jp

- ・令和4年度緊急運航実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・山梨県消防防災航空隊安全運航1万日達成・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ・各県防災航空隊視察研修及び進出訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～4
- ・第6回緊急消防援助隊全国合同図上訓練、共同運航・連携強化モデル事業
実動訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ・日本航空学園航空祭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ・コンパニオンアニマル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- ・山梨県災害対策本部図上訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- ・合同訓練等実施内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9～13
- ・山梨県消防防災航空隊自隊訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- ・退任隊員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15～16

令和4年度緊急運航実績

区分	件数 人員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
		救助	救助件数	1	2		2	10	7	16	6	7	4	1	2
救助人員	1		2		2	10	8	13	6	7	3	1	4	57	
救急	救急件数	2	2		1	9	6	10	5	3	1		2	41	
	搬送人員	1	2		1	9	7	10	5	3	1		4	43	
火災	災害件数												3	3	
	飛行回数												7	7	
災害応急対策	災害件数							1					1	2	
	飛行回数							1					1	2	
件数小計		3	4		3	19	13	27	11	10	5	1	8	104	
相互応援・広域航空消防応援・緊急消防援助隊	救助	救助件数				1	1			2	1	1	2	8	
		救助人員					1			1		1	2	5	
	救急	救急件数					1			1		1	2	5	
		搬送人員					1			1		1	2	5	
	火災	災害件数	1												1
		飛行回数	1												1
	その他	災害件数													0
		飛行回数													0
件数小計		1				1	2	0	0	3	1	2	4	14	
緊急運航並びに相互応援協定・広域航空消防応援・緊急消防援助隊の合計件数														118	

3月31日現在

今年度の緊急運航件数は、上記表のとおり3月31日現在で118件ありました。

このうち、救助活動件数は県内外合わせて66件あり、県内活動が58件、相互応援協定等に基づく他県応援活動が8件でした。

緊急運航件数のうち、県内での救助活動が56%を占め、救急活動は39%、火災防御活動は3%、災害応急対策は2%、また、県外への応援活動は12%あり、長野県、群馬県への応援活動でした。

山梨県消防防災航空隊

安全運航10、000日達成！



2代目あかふじJA223Y

初代あかふじJA6748

平成7年4月26日に初代あかふじ（シコルスキー社製S76-B型）が運航開始、延べ8477日間の運航を終え、平成30年7月25日に2代目あかふじ（シコルスキー社製S76-D型）が運航開始。令和4年9月11日に安全運航1万日を達成しました。

「あかふじ」の愛称と共に、皆様に愛され達成することができました。今後も山梨県消防防災航空隊一同、安全運航を築き上げていきます。



各県防災航空隊視察研修

令和4年6月23日（木）・24日（金）に新潟県消防防災航空隊、令和4年7月6日（水）・7日（木）に静岡県消防防災航空隊への視察研修を行いました。

新潟県消防防災航空隊は平成11年5月、静岡県消防防災航空隊は平成13年12月より相互応援協定を締結しております。

本研修は、大規模災害発生時における連携強化、消防防災ヘリコプターの効率的な運用、安全管理強化として、座学をはじめ資器材説明、実機訓練参加、駐機訓練を行いました。他県防災航空隊の活動を知ることができ有意義な研修となりました。

新潟県消防防災航空隊



静岡県消防防災航空隊



視察研修及び進出訓練来隊

新潟県消防防災航空隊視察研修来隊

令和4年11月21日（月）、新潟県消防防災航空隊が視察研修のため来隊しました。当航空隊の活動紹介、資器材紹介、駐機訓練、意見交換を行い、当航空隊の活動を知っていただく良い機会になりました。相互の活動を知ることにより、更なる連携強化を図り災害発生時には、迅速かつ安全な活動を行っていききたいと思います。



埼玉県防災航空隊進出訓練来隊

令和4年5月26日（木）、埼玉県防災航空隊が進出訓練のため来隊しました。埼玉県防災航空隊は平成14年7月に相互応援協定を締結しております。

本訓練は、災害応援活動を想定し飛行経路の確認のため飛来し、当航空隊の活動紹介、資器材説明、意見交換を行いました。また、「顔の見える関係」を構築することができました。



令和4年度においては、相互応援協定を締結している3県と視察研修並びに進出訓練を行いました。研修、訓練を通し相互の活動を理解することができ、有意義な時間となりました。災害応援や大規模災害発生時には連携し災害収束に向け最善を尽くしていきます。

第6回緊急消防援助隊全国合同図上訓練

令和4年7月27日（水）、静岡県内において第6回緊急消防援助隊全国合同図上訓練が行われました。本訓練は南海トラフ地震における緊急消防援助隊アクションプランに基づく項目を実践し検証することで、対応能力の向上を図ることを目的として行われました。

当航空隊は、「航空指揮支援隊」として参加し、ヘリベース指揮者の補佐を行い、今後起こりうる大規模災害に備え、連携強化を図ることができました。



共同運航・連携強化モデル事業実動訓練

令和4年10月13日（木）、福島ロボットテストフィールドにおいて、浸水住宅のベランダからの救出訓練及び無線運用訓練が行われました。本訓練は各県防災航空隊の手技の共通点や相違点に着目して訓練を実施し、よりよい手技・手法を研究し技術向上と安全性を図ることを目的として行われました。他県防災航空隊の活動を見ることができ、今後の活動に参考となる実りのある訓練となりました。

ヘリコプター参加隊：福島県消防防災航空隊、茨城県防災航空隊、栃木県消防防災航空隊
埼玉県防災航空隊

地上参加隊：新潟県消防防災航空隊、群馬県防災航空隊、長野県消防防災航空隊
山梨県消防防災航空隊



日本航空学園航空祭

令和4年10月8日（土）～10日（月）までの3日間、日本航空学園において航空祭が開催されました。令和元年に開催されてから新型コロナウイルス蔓延により中止されており、3年ぶりの開催となりました。

今年は、建学90年特別航空祭として開催され当航空隊は3日間、救出救助訓練、民間救急との連携活動の展示を行い多くの方にあかふじを知っていただく良い機会になりました。

～DAY1～



～DAY2～



～DAY3～

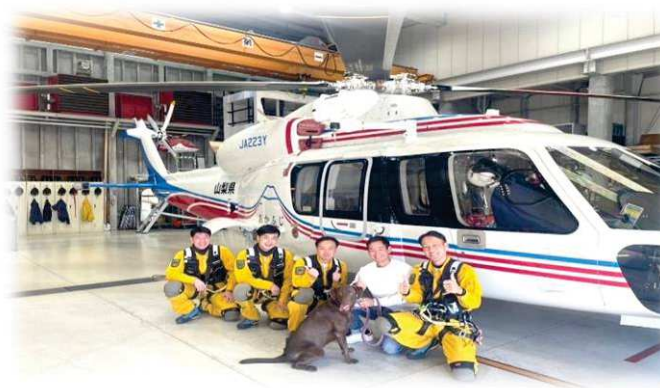


コンパニオンアニマル

令和4年10月26日、当航空隊格納庫においてコンパニオンアニマルレスキュー検証訓練を行いました。過去の大規模災害を教訓に、人命はもちろん家族同様のペットを救助しようとさまざまな資器材を使用し救出訓練を行いました。災害発生時に迅速に対応できるよう更なる調査、研究を重ねていき、人命救助同様、迅速に救助できるよう日々努力していきます。

本訓練につきましては、関係者のご協力の下、実施することができました。

山梨県消防防災航空隊一同、心より感謝申し上げます。



山梨県災害対策本部図上訓練

令和5年1月13日（金）、山梨県庁防災新館において山梨県災害対策本部雪害図上訓練が行われました。多くの機関が参加する中、当航空隊は航空運用調整班として参加しました。

平成26年に発生した豪雪に匹敵するという想定で行われた訓練の中、他機関との連携、他県防災航空隊への情報提供（仮想）などを行い有意義な訓練となりました。

大規模災害発生時には、効率的かつ効果的な運用ができるよう日々災害に備えていきたいと思えます。

山梨県災害対策本部

【訓練日】

令和5年1月13日（金）

【訓練場所】

防災新館4階会議室

【訓練参加機関】

- ・ 山梨県警察本部
- ・ 甲府地区消防本部
- ・ 甲府地方気象台
- ・ 関東地方整備局
- ・ 甲府河川国道事務所
- ・ 陸上自衛隊
- ・ 中日本高速道路株式会社八王子支社
- ・ 山梨県庁各課



合同訓練等実施内容

消防職員初任総合教育

(令和4年9月6日：
消防学校及び敷島総合公園)

消防職員初任総合教育学生を対象に、午前は消防学校において講義、午後は敷島総合公園にて救出救助訓練の展示を行いました。

学生の中から航空隊員に派遣されるのが楽しみです。



峡北消防本部合同訓練

(令和4年9月27日：
当航空隊基地及び清哲訓練場)

山岳遭難等各種災害現場における救助活動の連携強化を目的として、人員投入訓練、連携訓練及び救出救助訓練を実施しました。



消防協会峡北支部合同訓練

(令和4年10月22日)

釜無川河川緑地公園)

大規模災害発生時における災害対応力向上を図るため当航空隊と連携し迅速かつ効果的な活動を行うことを目的として、救出救助訓練、バケットへの給水要領、機体展示を行いました。



総務委員会現地調査

(令和4年10月24日：当航空隊基地)

山梨県議会議員総務委員会委員9名が来隊し、現地調査を行いました。当航空隊の活動紹介、資器材展示を行い、あかふじに搭乗し上空から県有施設の現地調査を行いました。



山梨県警察本部航空隊 合同訓練

(令和4年10月25日：当航空隊基地)

ヘリコプターによる現場への人員投入の知識、技術を習得するとともに、相互の理解を深め、安全確実な連携活動を構築することを目的として、人員投入訓練、連携訓練を行いました。



甲府地区広域行政事務組合 議会議員行政視察研修

(令和4年11月2日：当航空隊基地)

甲府地区広域行政事務組合議会議員18名が来隊し、視察研修を行いました。

水害をテーマに行われた本研修では、平成27年に発生した関東・東北豪雨の活動紹介、水難用資器材、機体の展示を行いました。



令和4年度山梨県 地震防災訓練

(令和4年11月6日：西桂町上空)

山梨県東部・富士五湖において M7.0 の地震が発生し、西桂町で震度6強の揺れを観測したとの想定により、災害発生時の初動態勢として被害状況把握のため上空偵察訓練、ヘリテレ操作訓練を行いました。



南アルプス市消防本部 合同訓練

(令和4年12月8日：清哲訓練場)

各種災害発生時における地上隊との連携が円滑に実施できるよう技術の向上を図ることを目的として、地上隊との連携訓練、人員投入訓練を実施しました。



長野県危機管理部合同訓練

(令和4年12月26日：
当航空隊基地及び甲斐市宇津谷上空)

可搬ヘリテレ受信装置の設置及び受信訓練を実施することで大規模災害発生時の円滑な連携及び通信を図ることを目的として、長野県庁危機管理部と合同訓練を実施しました。



山梨県ヘリコプター等 航空運用調整会議

(令和4年12月26日、令和5年2月8日：
防災新館及びWeb開催)

大規模災害時における相互の連携強化に努め、災害対策活動の効率的な運用調整及び安全運航の確保を図ることを目的として行いました。

参画機関

- ・国土交通省 関東地方整備局 防災室
- ・国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所
- ・国土交通省 関東地方整備局 富士川砂防事務所
- ・陸上自衛隊第一特科隊
- ・山梨県警察本部 警備部 警備第二課
- ・山梨県警察本部 警備部 警備第二課 警察航空隊
- ・山梨県福祉保健部 医務課
- ・山梨県立中央病院 高度救命救急センター
- ・海上保安庁 清水海上保安部
- ・山梨県防災局防災危機管理課
- ・山梨県防災局消防保安課・山梨県消防防災航空隊



山梨県消防防災航空隊自隊訓練

令和4年度につきましても、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い合同訓練や各種行事が中止となる中、山梨県消防防災航空隊では自隊訓練に多くの時間を費やしてきました。

自隊訓練では各種災害に備え、手技の確立、隊員相互の連携強化、特殊環境下における技術向上に努めて参りました。

今後も過酷な現場での活動に対応すべく、山梨県消防防災航空隊一同、慢心することなく日々技術向上に努めて参ります。



J A 2 2 3 Y あかふじ

退任隊員紹介

隊長 相川 強直

(甲府地区消防本部)

救助活動	89件
救急活動	2件
火災防御	24件
その他	0件
出動合計	115件
救助人員	85名



副隊長 土橋 辰徳

(富士五湖消防本部)

救助活動	40件
救急活動	0件
火災防御	4件
その他	0件
出動合計	44件
救助人員	38名





令和5年3月31日付けをもちまして3年間の任期を終え、派遣元消防本部に帰任いたします。

各消防本部並びに各関係機関の皆様には、航空隊在任中のご支援ご協力に対しまして、厚くお礼申し上げます。

派遣元消防本部に帰任後も、これまでと変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

隊長 相川 強直

副隊長 土橋 辰徳

YAMANASHI

あかふじ

AIR RESCUE

